

学習内容のふりかえりと定着にフラッシュコンテンツを活用

単元名「図形の角と合同」(5年)

茨木市立中条小学校

ICT 活用のポイント

- 三角形の内角の和を、フラッシュコンテンツを使用し視覚的に確認する。
- 一人ずつフラッシュコンテンツの練習問題に挑戦する。

学習の流れ

①三角形を切り取り、教科書のようにしきつめて、気づいたことやわかったことを発表する。

②しきつめを通して気づいたことをもとにして、三角形の3つの角の大きさの和を調べる方法を考え、自分の考えを発表する。

③いろいろな三角形を紙にかいて3つの角の大きさの和を調べる。

④ふりかえりとしてフラッシュコンテンツを使用し、いろいろな三角形の3つの角の大きさの和が 180° になること確認する。

活用のポイント

- ” F 1 1 ” ボタンを押して全画面表示にしておくと、対象が大きく映りわかりやすい。

⑤教科書の練習問題をする。(180° からわかっている2つの角の和をひけばよいことに気づかせる。)



⑥三角形の内角を求める問題をフラッシュコンテンツよりテンキーで入力して一人一回ずつ答える。全員正解を目指す。

活用のポイント

- 計算の支援として、電卓または白紙とえんぴつをそばに置いておく。

使用する機器・教材等

パソコン、デジタルテレビ、算数学習用デジタルコンテンツ